

れきし

てらす通信

《発行》

新座市立歴史民俗資料館

野火止二丁目9番37号

TEL:048-481-0177

FAX:048-481-0149

MAIL:rekimin@city.niiza.lg.jp

第2号（令和5年10月）

開館から半年が経ちました！



今年4月1日、保健センターとの複合施設として産声を上げた「れきしてらす」。

開館から半年が過ぎ、ようやく「つかまり立ち」ができるかできないかという赤ちゃんですが、子の成長は早いもの、皆さんの温かい目に見守られながらあっという間にすくすくと立派な施設に育っていくことでしょう・・・。

これからも未永く、「れきしてらす」の成長を応援くださいますようお願い申し上げます。

さて、季節は秋、皆さんお待ちかねの紅葉が鮮やかに色づく季節を迎えようとしています。平林寺や睡足軒の森、野火止用水にお越しの際は、少しでも足を延ばしてぜひ「れきしてらす」にもお立ち寄りください！職員一同、皆さんのお越しを心よりお待ちしております！！

～「れきしてらす」半年の歩み～

開館からわずか半年ではありますが、「れきしてらす」では旧歴史民俗資料館をしのぐ勢いで展示資料の入れ替えや各種講座、企画展を開催しています。

ここではこの半年の「れきしてらす」の主なイベントを紹介するとともに、今後予定されている催し物を少しだけ紹介します。これからも盛りだくさんの企画を準備していきます。しかし、企画を盛り上げるのはほかでもない参加者の皆さんです！奮ってご参加ください！！

令和5年4月 開館

4～6月 武蔵野線50周年記念パネル展

6月 武蔵野線ギャラリー・トーク

7月 開館記念講演会

「古文書からみる野火止用水」

8月 自由研究相談会、展示物スケッチ大会、常設展ギャラリー・トーク

9月 大和田囃子・はだか神輿映像上映

10月 健康パネル展

～開催予定～

10月28日～12月17日

「未来に残したい野火止用水の風景」展

11月14日 段ボール迷路が光庭に出現！

期間限定展示のご案内



押絵羽子板

下記の日程で期間限定の展示を行います。
この機を逃すと二度と見られない逸品揃いです。
ぜひ足をお運びください！！

第1弾 11月14日～12月27日

平林寺所蔵「猫足膳」(ねこあしぜん)

川瀬巴水(かわせはすい) 木版画

「野火止 平林寺」

第2弾 11月1日～令和6年2月28日

押絵羽子板(地元押絵師作品)

「京鹿子娘道成寺」(きょうがのこむすめどうじょうじ)

～れきしてらすコラム～

【学芸員のつぶやき】

第1回 「国指定天然記念物」に誤解なきよう

「平林寺境内林」は、新座市唯一の国指定文化財(天然記念物)である。「林」と「文化財」は縁遠いようにも思われるが、天然記念物は文化財保護法の範疇なので、文化財に違いない。

市内各所に残るコナラ・クヌギの雑木林の多くは、江戸時代の新田開発によって、野火止用水とともに誕生した農用林・薪炭林であった。平林寺境内林がその代表例なのだが、雑木林が「天然記念物」の全てかということ、そうではない。武蔵野の二次林(人工の雑木林)に暮らす鳥や昆虫も含めた生態系が対象であり、それが関東各地で姿を消してしまったため、いわば「最後の楽園」として天然記念物に指定された。

かつての雑木林は15～20年程度で伐採していたとされるが、高木・老木化した雑木林では草本類が減り、それに連鎖して昆虫や鳥も多様性が失われていく。また、令和元年(2019)から市内で拡大したナラ枯れも、大径化したコナラ等に被害が集中し、落枝や倒木の危険が発生している。天然記念物、ナラ枯れ、周囲の安全、どれにとっても定期的な伐採と若返りを図ることが、最善の手法と言える。

次回の「れきしてらす通信」は新春発行の予定です
最新情報は「広報にいざ」または新座市のホームページをご覧ください！



れきしてらす